

かけはし

(題字・佐々木英明氏)

第 37 号

発行日：令和4年6月30日

発行元：陽東地区まちづくり協議会

事務局：陽東地域コミュニティセンター

〒321-0904 宇都宮市陽東2-16-36

TEL / FAX 028 (662) 6269

E-mail : yoto_com@flower.ucatv.ne.jp

陽東地区の人と人、心と心の「かけはし」に…

3年ぶりの農園再開に玉の汗～陽東小農園ボランティア、先生、子どもたち



マルチシート張り



畑の畝(うね)づくり



サツマイモの植え付け、3年生



1年生



2年生



陽東小農園チーム



撮影者 加藤弘
(陽東地区まちづくり協議会広報担当)

陽東小学校の農園活動

農園ボランティア 亀井二千夫
6月初め、梅雨入り前の好天の下、陽東小農園の活動が3年ぶりに再開しました。

農園は210㎡(約70坪)の区画が3面も有ってかなり広く、先生と児童だけでは十分な管理ができないため、2014年に地域協議会に「農園ボランティア」グループを立ち上げて協力を続けてきました。

暑くもなく寒くもなく農作業にはうってつけの天候に恵まれた日の放課後、庄司校長以下先生方全員とボランティア15名とで畝立てとマルチシート張りに汗を流しました。これだけ大勢で作業をしたのは初めてのことだったと思います。

その翌日、全校児童が学年別に総数800本のサツマイモの植え付けを行いました。今年にはコロナの感染防止対策に配慮して畝幅を広く取りましたが、子どもたちは先生やボランティアの指導を受けながら、秋の収穫を楽しみにどの子も一生懸命に植え付け作業を行っていました。

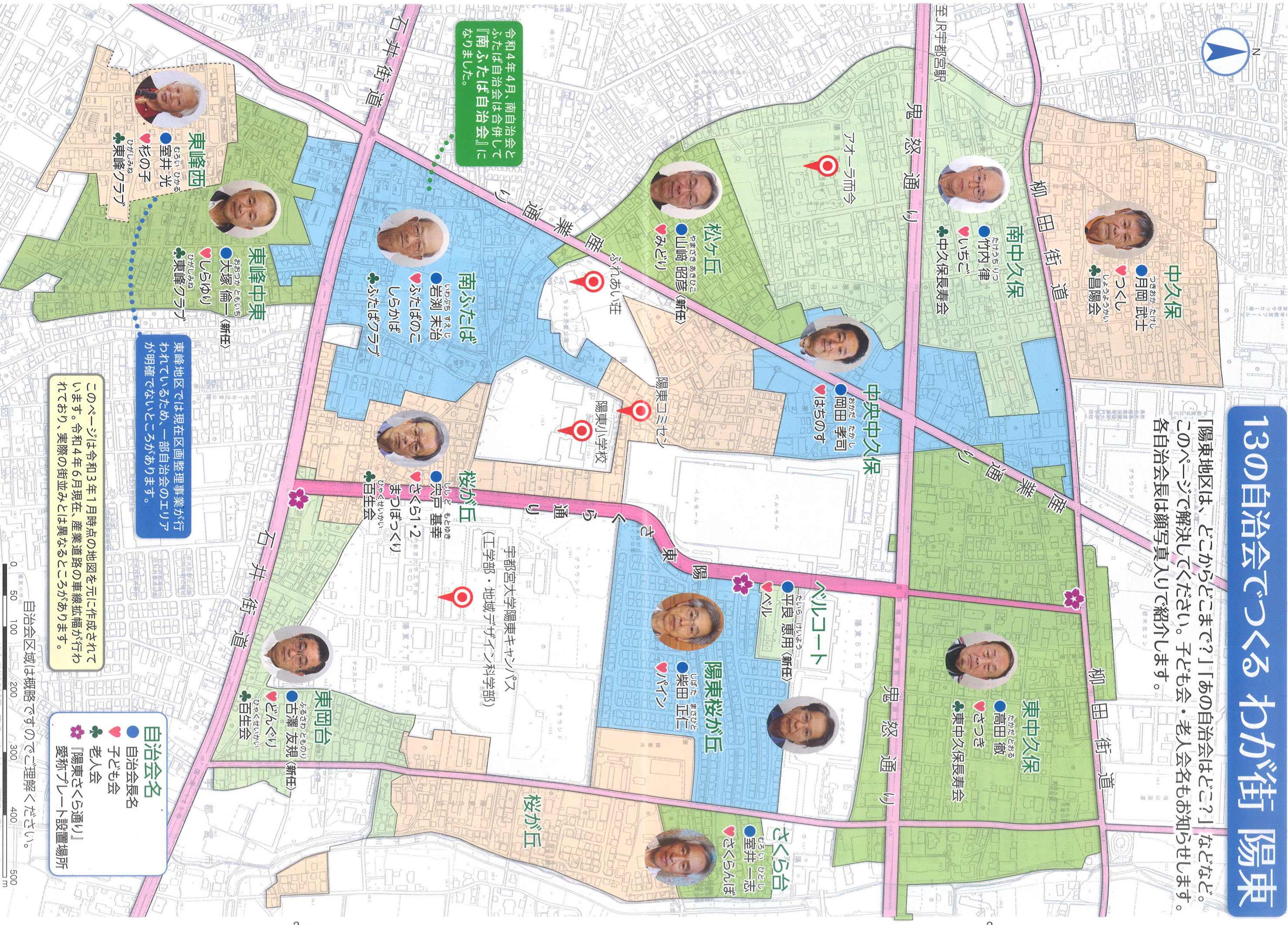
農園ボランティアは、農業経験者や若いお母さんたちなどで構成されています。土に接することは大地からエネルギーをもらい、精神的・肉体的にも癒されて活力がわきます。日頃、「土にふれる」ことの少ない貴方も私たちの活動に参加して一緒に気持ちのいい汗を流しませんか？

農園の一角には、11年前の東日本大震災の津波にも負けずに咲いた一本の「ど根性ひまわり」の子孫が毎年花をつけます。どうぞ見に来てください。



13の自治会でつくる わが街 陽東

「陽東地区は、どこからどこまで?」「あの自治会はどこ?」などなど。このページで解決してください。子ども会・老人会名もお知らせします。各自治会長は顔写真入りで紹介します。



中久保
 ● 月岡 武士
 ♥ つくし
 ♣ 昌陽会

南中久保
 ● 竹内 律
 ♥ いちご
 ♣ 中久保長寿会

中央中久保
 ● 岡田 孝司
 ♥ はちのす

東中久保
 ● 高田 徹
 ♥ さつき
 ♣ 東中久保長寿会

松ヶ丘
 ● 山崎 昭彦 (新任)
 ♥ みどり

陽東桜が丘
 ● 柴田 正仁
 ♥ パイン

さくら台
 ● 室井 一志
 ♥ さくらんぼ

南ふたば
 ● 岩淵 末治
 ♥ ふたばのこ
 ♣ ふたばクラブ

桜が丘
 ● 奥戸 基幸
 ♥ さくら1・2
 ♣ まつぼつくり
 ♣ 百生会

東岡台
 ● 古澤 友規 (新任)
 ♥ どんぐり
 ♣ 百生会

東峰西
 ● 室井 光
 ♥ 杉の子
 ♣ 東峰クラブ

東峰中東
 ● 大塚 倫一 (新任)
 ♥ しらゆり
 ♣ 東峰クラブ

東峰地区では現在区画整理事業が行われているため、一部自治会のエリアが明確でないところがあります。

このページは令和3年1月時点の地図を元に作成されています。令和4年6月現在、産業道路の車線拡幅が行われており、実際の街並みとは異なる場合があります。

自治会名
 ● 自治会長名
 ♥ 子ども会
 ♣ 老人会
 ♣ 「陽東さくら通り」愛称プレート設置場所



令和4年4月、南自治会とふたば自治会は合併して『南ふたば自治会』になりました。

まちづくり協議会 新任団体長



東峰中東自治会長
おつか ともいち
大塚 倫一



松ヶ丘自治会長
やまぎき あきひこ
山崎 昭彦



東岡台自治会長
ふるさわ ともり
古澤 友規



ベルコート自治会長
たいら けいよう
平良 恵用



陽東中学校長
たかはし たかし
高橋 高



陽東小学校長
しょうじ かずひろ
庄司 和弘



認定こども園
さくらが丘園長
すずき けいじ
鈴木 恵治



リサイクル推進
委員会
か げ ゆ み つ お
勸解由 光夫

これからの主な行事

7月31日(日)	陽東夏祭り
8月20日(土)	校庭キャンプ
9月18日(日)	敬老会
10月9日(日)	体育祭
〃 15日(土)	陽東祭
12月4日(日)	HUGシミュレーション
〃 11日(日)	ウインターカーニバル
1月8日(日)	どんど焼き

陽東夏祭り 3年ぶりに開催します

7月31日(日)、新型コロナウイルス感染防止対策に十分留意しながら、「今、できること」として、打ち上げ花火や子どもの手持ち花火会、ゲームコーナー、お楽しみ抽選会などを実施する方向で検討しています。詳細が決まりましたら回覧でお知らせします。



住民の買い物支援に宇大生が一役

(東峰サロンとみくら)

宇大生による野菜直売所「つながり」

東峰西自治会の交流サロン「とみくら」で、6月12日(日)、宇大生による野菜の直売会がありました。実施したのは「学生野菜直売所「つながり」という主に農学部3年生のグループです。約3年前から清原地区の数件の農家と連携し、自分たちが生産現場で仕入れた野菜を直接販売しています。農家から教えてもらった野菜の特徴やこだわりなど、地元野菜の魅力を発信することや地域の人たちとのつながりを大事にしていくことを目的にしているそうです。以前は峰地区で活動していましたが、この5月からは「とみくら」に拠点を移し、今回で2回目の開催です。

最近、「買い物弱者」や「買い物困難者」という言葉を耳にするようになりましたが、東峰西自治会の地域には近くに食料品店がないため、買い物をするのに不便を感じている方が多いそうです。この日は開店前から行列ができ、たくさんあったブロッコリーやトマト、カブ、キャベツ等が飛ぶように売れていきました。

買い物物を済ませた住民からは「新鮮でおいしい野菜を安く、そしてこんな近くで買えてありがたい」「ぜひ続けてやってほしい」という声が聞かれました。学生たちも「この人たちは皆やさしくてやっていて楽しい」そうです。今後も概ね月に一度のペースで野菜の直売をしていく予定とのことです。住民の買い物支援のためにもぜひ活動を続けていってほしいものです。



故 佐々木英明さんを偲ぶ

4月13日、陽東の活力あるまちづくりに大きな足跡を残した松ヶ丘自治会の佐々木英明さんが93歳で逝去されました。佐々木さんは高校教員退職後、平成23年度までの22年間、松ヶ丘自治会長、そして陽東地区連合自治会長及びまちづくり協議会長として、住みやすい魅力あふれる地域の実現に多大な貢献をされました。

さらに忘れてならないのは、佐々木さんは本紙「かけはし」の生みの親だということです。本紙の創刊号は今から14年前の平成20年1月に発行されましたが、その時はまだ名前がなく、公募を経て第2号から「かけはし」と名付けられました。

当時の発行元は、まちづくり協議会の前身にあたる「陽東地区各種団体連絡協議会」でしたが、佐々木さんは会長として、「かけはし」の初号に次のような序文を寄せられました。

この広報紙が、陽東地区の人と人、心と心の架け橋になればと「かけはし」と名前がつけられました。人と人との和と輪が広がり、心と心が結ばれ繋がる「かけはし」として、陽東地区のさらなる発展に寄与できることを願っております。

佐々木さんの思いに込められるよう、今後とも「かけはし」の一層の充実を努めてまいります。佐々木英明さんのご冥福をお祈り致します。



名前のない創刊号
(平成20年1月)



「かけはし」初号
(平成20年7月)

市から緊急要請 ごみSOS!

2月に発生した火災でクリーンパーク茂原の施設の一部が焼失し、現在、同施設でごみの焼却ができなくなっています。(復旧は10月下旬の見通し)市からは市民・事業者に対し「燃えるごみの5割削減」が要請されています。皆様のご協力をお願いします。